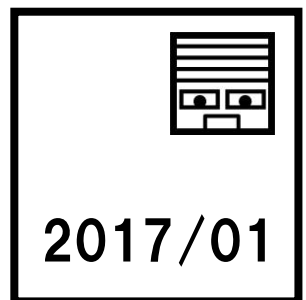




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。



この号で、私は「社楽」の執筆デビューをいたします。よろしくお願ひします。

今回は「駄菓子」の企業の社史を紹介します。名付けて「だがししゃし」。私は知らなかったのですが「だがしかし」という駄菓子のマンガがあるそうで、社史担当のTさんがここにこと命名していました。

駄菓子の定義は明確ではないので、昔、駄菓子屋さんやスーパーで買ったことがあり、今もなお商品を製造している企業の社史の中から、五社の社史を取り上げさせていただきます。

だがし

ししゃし

①『マルカワ1世紀のあゆみ』（丸川製菓株式会社／1988年刊行）

・代表的な商品…オレンジマーブルガム、フイリックスガム

☆歴史…1888年、「げんこつ飴」（水飴、砂糖、裸麦粉が原料の菓子）の製造販売を始めました。戦後は、菓子類で唯一砂糖を使わず統制がなかったガムに活路を見出します。当時進駐軍のGIがいつもガムを噛んでいたのが、ガム業界の前途は有望に見えたからです。1959年、それまでの四角いガムから、玉ガム「オレンジマーブルガム」を商品化しました。

②『協同乳業50年史』（協同乳業株式会社／2003年刊行）

・代表的な商品…ホームランバー、乳製品

☆歴史…1955年、アイスクリームの製造を始め、日本初のデンマーク製アイスクリームバーマシンを設置しました。1960年、「ホームランバー」の生産を開始し、このマシンによって大量生産を行います。当時の価格は十円でした。（※日本で初めての当たりつきアイスクリームバーといわれています。）

◎こぼれ話…『協同乳業10年史』（1963年刊）には、元プロ野球選手の長嶋茂雄氏を起用した1961年のポスターが掲載され、ホームランバーの満塁ホームラン賞の景品は「野球盤（ゲーム）、グローブ、卓球セット、ドッジボール、カール人形、玩具ミシン、名糖バッグの内一点」となっています。

（裏面につづく）

(表面からづく)

③『フルタ製菓30年のあゆみ』(フルタ製菓株式会社/1983年刊行)

・代表的な商品…ハイエイトチョコレート、わなげチョコレート

☆歴史…1952年、ボーロー菓子の製造販売業を開始しました。1953年、利益率の低いボーローに見切りをつけ、試作に成功したチョコレート製造販売に力点をおくことになりました。1967年に発売されたハイエイトチョコレートは、「めがねチョコ」の愛称で全国の子供たちの人気を集めました。これは、それまでの菓子包装の常識を破り、当時の副社長が薬品からヒントを得て開発した、錠剤などに用いるパッケージ(ブリスター容器)を採用しました。

◎こぼれ話…1965年ごろから1980年ごろには、ムーミンやアルプスの少女ハイジ、赤毛のアンなど人気アニメ番組キャラクターの独占使用権を取得しました。フルタ製菓のイメージ浸透を図り続け、その実績が実り、チョコレート類をはじめとした製品の大幅な売り上げ増になりました。

④『パインアメ物語』(パイン株式会社、2001年刊行)

・代表的な商品…パインアメ、あわだま、どんぐりガム

☆歴史…創業者が「平たくて丸くて、おいしい食べ物」ということでひらめいたものが、当時高級品であったパイナップルの缶詰でした。庶民のあこがれを飴に託し、1951年、さまざまな問題を乗りこえ、パインアメ第一号を完成させました。評判は上々で、ひっそりなしに注文が入り、類似品が出回るくらい人気となりました。

◎こぼれ話…パインアメは何度も改良され、1972年からは天然果汁を配合しました。業界ではいちばん早く天然果汁をフリーズドライにして最後に練りこむ方法を開発。味を天然のパイナップルに近づけました。

⑤『お菓子とともに』(三立製菓株式会社・1992年刊行)

・代表的な商品…チョコバット、源氏パイ、かにぱん、カンパン

☆歴史…1964年、「手づくりでなければできない」といわれていたパイの量産化を業界で初めて実現し、翌年に看板製品となる「源氏パイ」を発売。三立製菓の名が全国に広く知られるようになります。1974年には「かにぱん」が新製品として発売されます。

◎こぼれ話…「源氏パイ」は、1966年にNHK大河ドラマで「源義経」が放映されることを知り、その話題性を生かし、洋風のパイにあえて和風のネーミングを採用しました。パイの形が弓矢の鏑矢に似ていることから命名されました。

ほかにも多くのお菓子メーカーの社史を所蔵しています。社史で懐かしのお菓子について調べるのも、面白いかもしれませんね。

(科学情報課・緒方)

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>